

京都大学英語学術語彙研究グループ + 研究社著「京大、学術語彙データベース、基本英単語 1100」
研究社 2009年6月20日刊を読む

大学の基本英単語とは

1. (1)本書は、大学の全学共通教育(教養教育、一般教育)用英単語集として大学生の語彙教育に供するために作成されたものである。

(2)日本の大学生の語彙力低下が指摘されるなか、大学生を対象とした英単語集は、大学受験用英単語集に比べ圧倒的に数が少ない。

(3)さらに、文学・教育学・法学・経済学といった文系分野から、理学・工学・農学・医学・薬学といった理系分野まで幅広くカバーするものに至っては、皆無といってよい。

(4)つまり、学士課程において、大学生が英語学習の拠り所とすべき指針は長い間、事実上存在しなかったわけである。このような背景のもと、本書は企画された。
2. (1)本書の掲載語は、京都大学が独自に開発した英語学術語彙データベースから選出されている。

(2)同語彙データベースは、京都大学の教員から推薦された英語論文誌に基づき、とりわけ学術研究の下地として必要な英語力とは何か、という問題意識から作成された。

(3)英語論文誌の推薦には、京都大学の各学部・研究科から協力を得ることができた。

(4)そのため、同語彙データベースに収録された語は文系・理系、特定分野という枠組みを越えて広範囲にわたっている。

(5)本書に掲載された基本単語は、同語彙データベースから各語の出現頻度や出現傾向を反映する指標に従って選出された文系・理系共通学術語彙、および文系共通学術語彙、理系共通学術語彙である。

(6)したがって、全国の大学生・大学院生にとって、学部や学科を問わず役に立つことはもちろんのこと、実務で英語に携わる社会人にとっても参考になるものと思われる。

P3

[コメント]

本書で1週間に100語～200語、確実に語彙力を身につけることは、その後の英語学習を飛躍的に向上させると確信する。

- 2009年9月1日林明夫記 -